

FUJ.029

- o The invention relating to Claims 2, 3 and 4, relative to the invention relating to Claim 1, does not satisfy the relationship stipulated in each number of Article 37.

Remarks:

The "Problem to be overcome" of No. 1 of Article 37 of the Patent Law was a technical problem to be resolved by the invention, and was un-resolved up to the point in time at which the application was submitted.

The "important component which cannot be lacking from the construction of the invention" of No. 2 of Article 37 of the Patent Law is a Claim relating to new construction corresponding to the problem to be overcome.

It goes without saying that a "liquid crystal display device which sandwiches a liquid crystal display panel between an upper and a lower frame" is technology which was known prior to the submission of the present application, and is not recognized as an "important component which cannot be lacking from the construction of the invention" as required by No. 2 of Article 37 of the Patent Law.

Since the present application is in violation of the stipulations of Article 37 of the Patent Law, the invention relating to Claims other than Claim 1, 5 and 6 will not be examined in relation to other conditions of Article 37 of the same law.

(Concerning the Citation Publications, Reference Should be Made to the Reference Citation List)

- o Claims 1, 5 and 6/Citations 1-3

Remarks:

Citation 1: Particular reference is made to Fig. 1 and Fig. 3 of the Public Disclosure.

Citation 2: Particular reference is made to Section [0033] and Fig. 1 of the Public Disclosure.

Citation 3: Particular reference is made to Fig. 1 of the Public Disclosure.

- o It goes without saying that the use of screen printing as an electro-conductive pattern forming method is technology which was known prior to the submission of the present application.

Reference Citation List

1. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 08-114802
2. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 11-024590
3. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 10-048599

Record of the Examination Results relating to Documents of
the Prior Art

- Examined Technical Field: IPC 7th Edition

G02F1/1333

DB name

Documents of the Prior Art

The record of the examination results relating to documents of the prior art does not constitute the grounds for rejection.

整理番号 74610328

発送番号 053673

発送日 平成14年 2月26日 1 / 2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第100085号
起案日	平成14年 2月19日
特許庁審査官	檀本 英吾 9609 2X00
特許出願人代理人	畑 泰之 様
適用条文	第29条第2項、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理由1

この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

記

○請求項2, 3, 4に係る発明は、請求項1に係る発明に対して、特許法第37条各号に規定する関係を満たしていない。

備考

・特許法第37条第1号の「解決しようとする課題」とは出願時まで未解決であった、その発明が解決しようとする技術上の課題である。

また、特許法第37条第2号の「発明の構成に欠くことができない事項の主要部」とは、解決しようとする課題に対応した新規な構成に係る事項のことである。

・「液晶表示パネルを、上フレームと下フレームとで挟持する液晶表示装置」は、例をあげるまでもなく本願の出願前周知の技術であるから、特許法第37条第2号の「発明の構成に欠くことができない事項の主要部」とは認められない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1, 5, 6以外の請求項に係る発明については同法第37条以外の要件についての審査を行っていない。

理由2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において

発送番号 053673

発送日 平成14年 2月26日 2 / 2

頒布された下記の刊行物に記載された発明に基づいて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

○請求項1, 5, 6 / 引用文献1-3

備考

- ・引用文献1 ; 特に公報の【図1】、【図3】参照。
- ・引用文献2 ; 特に公報の【0033】段、【図1】参照。
- ・引用文献3 ; 特に公報の【図1】参照。
- ・導電性のパターン形成方法としてスクリーン印刷は、例をあげるまでもなく本願の出願前周知の技術である。

引用文献等一覧

1. 特開平08-114802号公報
2. 特開平11-024590号公報
3. 特開平10-048599号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 G02F1/1333
DB名
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

なおこの拒絶理由通知に不明な点がある場合、または、この案件について面接を希望する場合は、特許審査第1部光制御（光デバイス） 榎本英吾（かしもと えいご）（特許庁 内線3295）までご連絡下さい。

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-024590

(43)Date of publication of application : 29.01.1999

(51)Int.Cl.

G09F 9/00
G02F 1/1333

(21)Application number : 09-182693

(71)Applicant : TOSHIBA ELECTRON ENG CORP
TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 08.07.1997

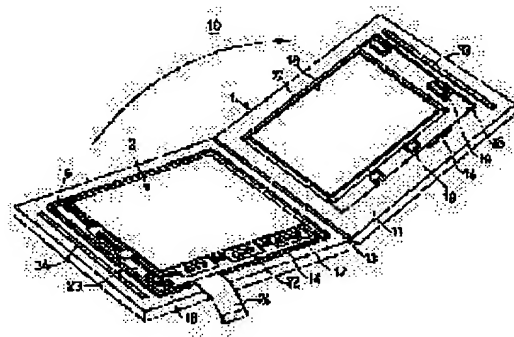
(72)Inventor : YOKOYA KOICHI

(54) PLANE DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To minimize the number of components and the assembly man-hour of a frame structure by housing and holding a display panel at the inside of an integrated type frame provided with a locking part or the like mutually locking a display surface side cover part and a rear face side base bottom part when a hinge is closed.

SOLUTION: This plane display device 10 is constituted by housing the display panel 2 at the inside of the integrated type frame 1 of a bivalve structure. The integrated type frame 1 is integrally formed by embedding a metal frame 3 in hard rubber. A cover part 11 and a base bottom part 12 are joined by a hinge part 13 so as to freely open/close in the integrated type frame 1. Then, a recessed part 18 for housing the display panel to house the display panel 2 in a closed state is provided at the cover part 11 and the base bottom part 12. Projected lines for sealing 14 to seal the interstice between the cover part 11 and the base bottom part 12 in the closed state are provided at both parts 11 and 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-24590

(43)公開日 平成11年(1999) 1月29日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 9 F 9/00

3 4 9

G 0 9 F 9/00

3 4 9 F

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/1333

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-182693

(22)出願日

平成9年(1997) 7月8日

(71)出願人 000221339

東芝電子エンジニアリング株式会社
神奈川県川崎市川崎区日進町7番地1

(71)出願人 000003078

株式会社東芝
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 横谷 幸一

神奈川県川崎市川崎区日進町7番地1 東
芝電子エンジニアリング株式会社内

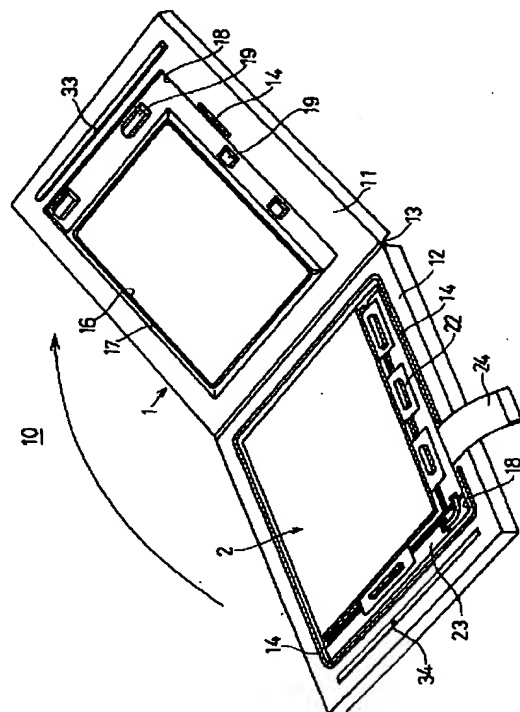
(74)代理人 弁理士 葛田 瑤子 (外1名)

(54)【発明の名称】 平面表示装置

(57)【要約】

【課題】 液晶セル等の表示パネル2がフレーム構造中に保持される平面表示装置10において、フレームの部品数及び組立工数を減少させることができるものを与える。

【解決手段】 カバー部分11、台底部分12、及び蝶番部分13が一体成形された二枚貝構造のフレーム1を用いる。二枚貝構造を閉じたときには、カバー部分11のプラグ33が台底部分12のソケット34に嵌着されて係止される。硬質ゴムからなるフレーム1中には、金属フレーム3を埋め込んで成形しておく。



【特許請求の範囲】

【請求項1】表示面側カバー部分と、裏面側台底部分と、これら両部分を開閉自在に接合する蝶番部と、この蝶番部が閉じられた際に前記両部分を互いに係止する係止部とを備えた一体型のフレーム中に、表示パネルが収納されて保持されることを特徴とする平面表示装置。

【請求項2】請求項1に記載の平面表示装置において、前記フレームが、ゴムまたはプラスチックにより一体成形されたものであることを特徴とする平面表示装置。

【請求項3】請求項1に記載の平面表示装置において、前記フレームが、金属製フレーム構造物を埋め込んで成形したものであることを特徴とする平面表示装置。

【請求項4】請求項1に記載の平面表示装置において、表示パネルまたはバックライトとフレーム各部との接合部、及び、フレーム各部同士の接合部をシールするための、リップ部またはバックリングシールが前記フレームと一体に形成されたことを特徴とする平面表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、液晶パネル等の表示パネルがフレーム構造中に保持される平面表示装置に関する。特に、カーナビゲーションシステム、携帯情報端末、小型TV等に用いられる中小型の平面表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】平面表示装置の表示パネルは、一般的に、表示面側（上側）の略額縁状の金属製カバーフレーム（ベゼルカバー）と、裏面側（下側）の樹脂製台底フレームとによって挟み込まれて保持される。金属製カバーフレームは、平面表示装置の周縁部に配された管状ランプや駆動回路及び駆動入力部から発生する電磁波をシールドする役割も果たすものである。樹脂製台底フレームには、通常、バックライトが備えられ、その下面には、例えばランプカバー及びプリント基板が配される。

【0003】これら金属製カバーフレーム、樹脂製台底フレーム、ランプカバー及びプリント基板が平面表示装置のフレーム構造を構成する。例えば平面表示装置の四隅の角部等においてねじ止めにより接合される。この際、表示パネルやバックライトとフレームとの接合部、及び、フレーム同士の接合部が両面テープ及びゴムシールによってシールされて、接合部からのゴミの侵入が防止される。

【0004】フレーム構造は、ねじ止めによって接合されるので分解及び再組立が可能であり、製品検査により部品の不良が発見された場合等に不良部品を交換できる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のようなフレーム構造であると、フレーム構造を構成する部品点数が多く、そのため組立に多くの作業工程を必要とする。

る。また、不良部品の交換の際、フレーム構造の分解と再組立に多くの作業工程を必要とする。

【0006】特に、携帯用の中小型の平面表示装置にあつては、一層の市場拡大のためのさらなる低価格化と、十分な耐衝撃性が求められる。

【0007】そこで、本発明は、上記問題点に鑑み、表示パネルがフレーム構造に収納保持される平面表示装置において、表示パネルをフレーム構造に収納するための組立工数を最小とすることができ、不良部品の交換も容易に行える平面表示装置を提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1は、表示面側カバー部分と、裏面側台底部分と、これら両部分を開閉自在に接合する蝶番部と、この蝶番部が閉じられた際に前記両部分を互いに係止する係止部とを備えた一体型のフレーム中に、表示パネルが収納されて保持されるものである。

【0009】上記構成により、表示パネルをフレームに収納する際の組立工数を最小とすることができる。

【0010】請求項2は、請求項1に記載の平面表示装置において、前記フレームが、ゴムまたはプラスチックにより一体成形されたものである。

【0011】上記構成により、フレームの製造のための工数を最小とすることができる。

【0012】請求項3は、請求項1に記載の平面表示装置において、前記フレームが、金属製フレーム構造物を埋め込んで成形したものである。

【0013】上記構成により、駆動接続部等から発生する電磁波を有効に遮蔽することができる。また、フレームがゴム製である場合にも十分な強度を備えることができる。

【0014】請求項4は、請求項2に記載の平面表示装置において、表示パネルまたはバックライトとフレーム各部との接合部、及び、フレーム各部同士の接合部をシールするための、リップ部またはバックリングシールが前記フレームと一体に形成されたものである。

【0015】上記構成により、両面テープやゴムシールを別個に配することなく、ゴミの侵入を十分に防止することができる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図1～2に基づいて説明する。

【0017】図1は、実施例の平面表示装置について、カバー部分が開けられた状態を示す斜視図である。図2は、カバー部分が閉じられた状態を示す縦断面斜視図である。

【0018】平面表示装置10は、二枚貝構造の一体型フレーム1中に表示パネル2が収納されてなる。この一体型フレーム1は、硬質ゴム中に金属フレーム3を埋め込んで一体成形されてなる。

【0019】一体型フレーム1は、カバー部分11と台底部分12とが蝶番部分13によって開閉自在に接合されてなる。一体型フレーム1は、閉じた状態、すなわち蝶番が閉じられた状態で略長方形であり、蝶番部分は長方形の一短辺に設けられている。カバー部分11及び台底部分12には、閉じた状態で表示パネル2を収納するための、表示パネル収納用凹部18が設けられる。また、この閉じた状態でカバー部分11と台底部分12との間をシールするためのシール用突条14, 15が両部分11, 12に設けられる。

【0020】表示パネル2に接続される駆動回路部22, 23は、多数のTCP22と、表示パネル2の一長辺及び一短辺にそれぞれ配される2枚の駆動用PCB23とからなる。駆動用PCB23に接続する駆動入力ケーブル24は、一体型フレーム1が閉じられたとき、カバー部分11と台底部分12との間から外へ延び出すようにされる。

【0021】カバー部分11には、表示パネル2の上面(表示面)に対応する開口16が設けられ、この開口16には、表示パネル2の上面とカバー部分11との間をシールするためのリップシール17が設けられる。カバー部分11には、さらに、駆動用PCB23を押圧固定し、液晶セルの21の位置ズレを制限するための突起19が複数設けられる。

【0022】図2の断面斜視図に示すように、カバー部分11と台底部分12とにそれぞれ埋め込まれたカバー側及び台底側の金属フレーム31, 32は、一体型フレーム1が閉じられたとき、断面略コの字形であり、表示パネル2の周縁部、特に駆動回路部22, 23を電磁的にシールドする。

【0023】カバー部分11と台底部分12とは、蝶番部分13から最も遠い部分において、プラグ部分33とソケット部分34との接合により、閉じた状態で保持される。これらプラグ部分33及びソケット部分34は、それぞれ、カバー側埋め込み金属フレーム31及び台底側埋め込み金属フレーム32から延在されて形成される。プラグ部分33とソケット部分34との接合は、子供服のべっちゃんボタンと同様に行われるものであって、着脱自在である。すなわち、プラグ部分33をソケット部分34に押圧挿入するとソケット部分34が弾性的に押し開かれてプラグ部分33を抱持する。また、一体型フレームを開ける際には、両部分33, 34を十分な力で引き離すことによりこの係止状態を解除する。

【0024】平面表示装置10が大きな衝撃を受けたときにもプラグ部分33とソケット部分34とからなる係止部が外れるのを防止するためには、例えば、強力粘着テープを係止部近傍の側端面に貼り付けることができる。また、1~2箇所においてねじ止めを行うこともできる。

【0025】図2中に示されるように、蝶番部分13に

は、補強のためのバネ板35が配される。

【0026】また、フレームの台底部分12には、表示パネル2に対応する開口が設けられているが、これはバックライトを配するためのものである。台底部分12の開口の周縁部には、上面にシール用突条15が形成され表示パネル2との間をシールする。このシール用突条15は、カバー部分11のリップシール17とともに表示パネル2を弾性的に挟持し、平面表示装置10が衝撃や振動を受けた際にも表示パネル2の位置ズレを防止する。

【0027】図2に示す例においては、フレームの台底部分12にバックライト用開口が設けられたが、このような開口を設けずバックライトを表示パネル2とともに収納する構造としても良い。表示パネルが、バックライトを必要としないもの、例えば反射型液晶パネルである場合には、バックライト用開口は不要であるが、フレーム構造の軽量化のために同様の開口を設けて置くこともできる。

【0028】上記の実施例によると、表示パネルを収納するフレーム構造における部品点数及び組立工数を最小とすることができる。また、製品検査中に不良が発見されて、表示パネルやこれに付属するTCP等の交換が必要な場合にフレーム構造の開閉が極めて容易に行える。

【0029】フレームが硬質ゴムよりなる一体成形品であっても、金属フレームが埋め込まれているので、駆動接続部等から発生する電磁波を有効に遮蔽することができる。しかも、このような構造であると、表示パネルが、柔構造-剛構造-柔構造の3層構造により保持され、表示パネルに対する衝撃や振動を吸収する上で理想的である。さらに、このような構造により、熱による収縮や膨張を考慮したあそびの寸法を設ける必要がなく、このあそびによるがたつきも生じない。

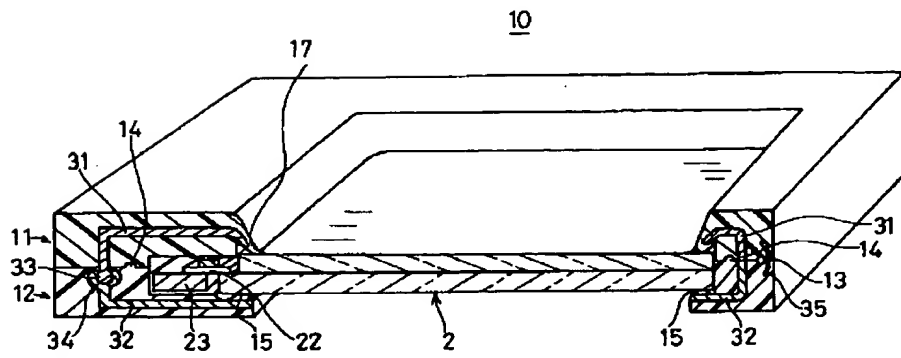
【0030】上記の実施例によると、各接合部にリップシールやシール用突条が設けられるため、両面テープ等やゴムシールを用いることなく、ゴミの侵入を充分に防止することができる。

【0031】上記の実施例によると、さらに、平面表示装置の組立ての際に、表示パネルの表示面をフレームの開口に合わせる位置合わせ(画面センター出し)も容易に行える。

【0032】上記実施例において、電磁波に対する遮蔽性を付与するためには、金属フレームの埋め込みに代えて、導電物質をゴム中に配合しても良い。この場合、駆動接続部における短絡を防止するために、表示パネルと接する内面には、絶縁層を積層形成するか、または絶縁テープを貼り付けることができる。

【0033】また、ゴム製フレームの外側に電磁波遮蔽用のカバーを嵌着させる構造とすることもできる。ゴム製フレームの外面に金属層を蒸着またはスパッタリングにより形成することも可能である。

【図 2】



【図 3】

20